

被験者募集のご案内

[内容に関するお問い合わせ先・書類宛先]

〒181-8612 東京都三鷹市下連雀 5-4-1

TEL 0422-47-8000(内線 2511)

研究責任者 杏林大学保健学部リハビリテーション学科 柴田 茂貴

現在、柴田研究室では、「マイナス 6° ヘッドダウン中における低負荷 LBNP が循環動態に与える影響：持続ヘッドダウンとの比較」というテーマについて、以下の実験について被験者を募集しています。

研究課題名	マイナス 6° ヘッドダウン中における低負荷 LBNP が循環動態に与える影響：持続ヘッドダウンとの比較
対象者の概要	研究対象者は 18 歳以上 60 歳未満の健常成人 20 名です。除外基準は、現在治療中の基礎疾患（心血管疾患・呼吸器疾患・代謝性疾患・神経系疾患等）を有する者、整形外科疾患、閉所恐怖症等により装置の装着が困難な者、BMI30 以上の者、循環器系に影響を与える薬剤を服用している者、喫煙習慣のある者、認知機能の低下が著しい者、妊娠中または妊娠の可能性のある者です。
実験の概要	本研究は、微小重力環境で起こる体液の頭部への移動（体液シフト）が人体に与える影響を緩和する方法を検証するものです。微小重力環境において、宇宙飛行士は頭部の膨満感や鼻詰まり、頭蓋内圧の上昇や視神経浮腫などの健康リスクに直面します。地上でこれを再現するため、身体を-6度傾ける「ヘッドダウンティルト(HDT)」を用い、さらに、下半身に陰圧をかけて体液を下半身に再分布させることで体液シフトを緩和する「下半身陰圧負荷(LBNP)」を組み合わせ、その効果を検証します。実験は 2 日間行います。各日、HDT 単独または HDT+LBNP の条件で 2 時間過ごし、心臓超音波検査、自律神経機能検査、脳血流速度、血圧、心拍数、採血による血液データ等を定期的に測定します。この研究は、宇宙飛行士の健康維持や、一般の宇宙旅行者、さらには地上の高齢者や患者の健康管理にも応用できることが期待されています。
実験時間	概ね 180 分×2 日 程度
実施期間	2025年1月30日 ~ 2028年 1 月 31 日
謝礼	あり ・ なし
申し込み方法	<p>■メールまたは QR コードによる応募をお願いいたします。</p> <p>① メールアドレス：shigekishibata@ks.kyorin.kyorin-u.ac.jp</p> <p>② メール本文へ以下をご記載ください：</p> <p>-----</p> <p>氏名：</p> <p>連絡先(メールアドレス)：</p> <p>希望する曜日・時間帯など：</p> <p>-----</p> <p>※メールでのご連絡または QR コードによる登録をいただきましたら、折り返しこちらからご連絡をいたします。</p> 